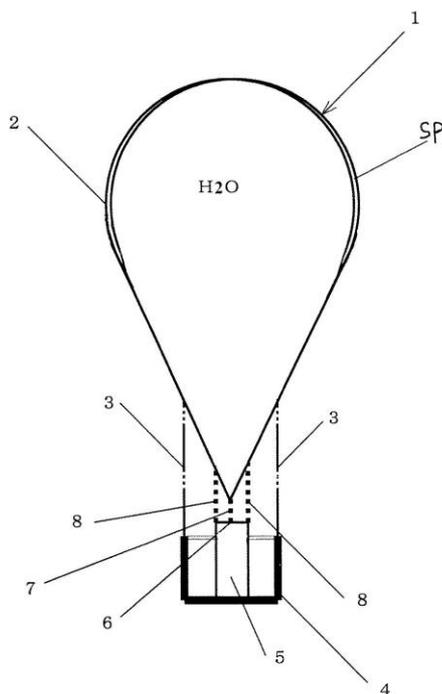


発明の名称	水蒸気式飛行体		
出願人/権利人	岡田 健志	発明者	岡田 健志
出願日	平成29年5月26日	出願番号	2017-104413
公開番号	2018-199386	特許番号	6698050
法的状態	登録中		

代表図



- 1 バルーン
- 2 エンベロープ
- 3 ライン
- 4 ゴンドラ
- 5 水蒸気発生装置
- 6 注水口
- 7 導水パイプ
- 8 チャージパイプ
- SP ソーラーパネル

発明の概要

浮揚ガスとして水蒸気を用いるバルーン、飛行船などの飛行体

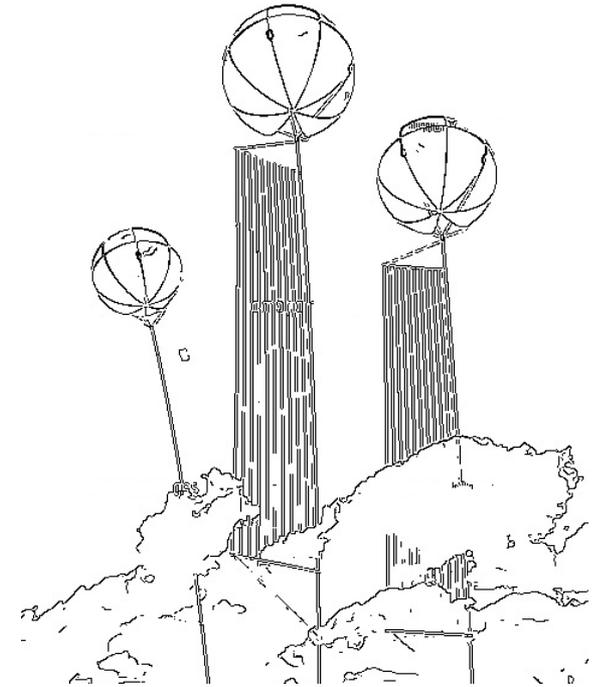
特徴

本発明の飛行体は、浮揚ガスとして水蒸気が封入されるエンベロープと、エンベロープの下方に取り付けられたゴンドラを有する飛行体である。ゴンドラには水蒸気発生装置が設けられ、水蒸気発生装置は、水を溜める貯水槽と、貯水槽内に浸漬された、あるいは複数の加熱板と貯水槽の周囲に配置された、IHコイルとIHコイルに通電する電源とを有している。水蒸気発生装置で発生した水蒸気をエンベロープに供給するので、従来の水蒸気発生装置を搭載した飛行体に比べて軽量で、CO₂を排出しないクリーンな飛行が行え、メンテナンスも容易で、飛行可能時間の長期化が可能となる。

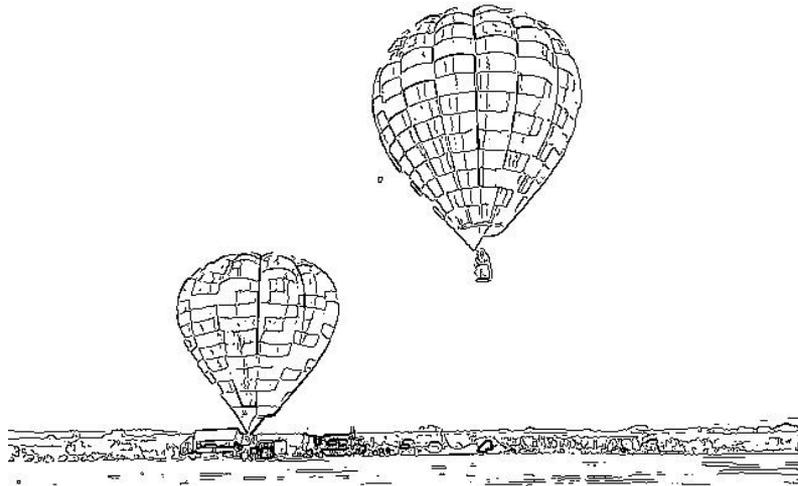
応用の可能性



飛行船



アドバルーン



気球

など

応用の可能性

- ・飛行船
 - ・気球
 - ・アドバルーン
- など

本技術の活用が見込める企業の一例

- | | |
|----------------|-------------------|
| ・株式会社エイ・イー・エス | ・株式会社ジャパンバルーンサービス |
| ・パナソニック株式会社 | ・有限会社仁平製作所 |
| ・飛行船ネットワーク株式会社 | ・セコム株式会社 |
| ・株式会社気球製作所 | ・トーテックス株式会社 |
| ・有限会社エアロノーツ | など |

岡田健志氏の本発明に関する最新動向

- ・岡田健志氏の本件特許に関連する情報はインターネット上には見受けられない。